



# くらし破壊の大増税路線にストップ!

2月議会報告

消費税8%だまっていたら10%

年金減り続けても、増税ばかり  
もうやりくりできない…。庶民の声が、政治に届いているのか、不安だ。(60代・男性)

買い物いかず、食事2回に  
スーパーに行かず、買い物を控えます。食事は1回分減らし切り詰めている。(50代・女性)  
(「県民の会」アンケートより)

消費税8%で8兆円。給料が増えていないのに物価は上昇。「アベノミクス」で、くらしは良くなり、消費税4月増税が家計に追い打ちをかけています。

県は「消費税の増税は避けられない」と、入場料・手数料の値上げなど計2億6千万円の負担を県民に転嫁しました

## いまこそ、怒りの声をあげるとき

年金、医療・介護など社会保障改悪に怒る、国民の悲鳴が聞こえます。消費税増税の増収分は5兆円。あらたに社会保障の充実に回るのは増収の1割、5千億円です。

県の消費税増税収入は37億円。県は増収増額を社会保障財源対策に使っているのでしょうか。平成26年度予算の実態は不透明です。

## 子どもの医療費窓口負担 増収増えでも全国最下位クラスのまま

子どもの医療費窓口無料化は切実な願い、「オール石川」の声です。佐藤まさゆき県議は県の姿勢を改め、「窓口無料化の実施に踏み出せ」と、迫りました。県の答弁は誠意がなく、福祉充実の姿勢が伝わってきません。

**4月からあいつぐ負担増...**

年金	支給額▶0.7%引き下げ(4月分~) 厚生年金保険料率(9月分~) 17.12%▶17.474%
医療	70~74歳の医療費 自己負担1割▶2割 (4月2日以降、70歳になる人~)
介護	40~64歳介護保険料率 (協会けんぽ・3月分~) 1.55%▶1.72%

平成26年2月定例会	共産	自民	県政	清風	公明	その他
4月からの消費税増税中止を求める請願	○	×	×	○	×	×
ブラック企業規制条例の制定を求める請願	○	×	×	○	×	×

(請願に対する各会派の態度：○は賛成、×は反対。その他の会派：新進、政心、未来、改新、WILL、黎明)

## 日本共産党佐藤まさゆき県議の提案

# 消費税に頼らない別の道 賃上げ、安定雇用でほんとうの景気回復を

①ムダの二掃や、大企業・大資産家に応分の負担を求める税制改革。②賃上げや安定した雇用で国民の所得を増やし内需を拡大。この2つを同時に進め、消費税増税に頼らず、くらし守り社会保障を充実。経済も財政も好転します。

### 大企業の内部留保の一部を賃上げにまわす

県内に関係する主な大企業の内部留保(下記表)をご覧ください。「ためこんだ内部留保」の数%取り崩せば、月1万円の賃上げが可能です。

### 中小零細企業を直接支援、最低賃金引き上げ

佐藤まさゆき県議は国と県の中小企業予算の大幅増額を求め、社会保険料負担などの軽減策を提案。9千億円程度の国の予算で従業員100人未満の全国の企業で、最低賃金を時給千円にできます。

### ブラック企業の根絶は政治の責任

若者を使い捨てにする「ブラック企業」。県労働局の調査では、対象事業所の85%が過酷な労働や、賃金不払い残業などの法令違反。ブラック企業を一掃することは政治の責任です。

### 実態つかみ、国・県の対策強化を

佐藤まさゆき県議は「ブラック企業規制条例の制定を求める」請願採択を求めて討論。国は労働者派遣法を抜本改正し、人間らしく働けるルールを確立するよう強調。そのうえで、県は規制条例を制定し、対策強化の必要性を求めました。



出勤する市民に訴える 佐藤まさゆき県議

主要企業の連結内部留保による試算  
2012年3月決算 / 国公労連資料より

	内部留保額	1	2
小松製作所	12,141億円	0.66%	4,047人
村田製作所	9,085億円	0.65%	3,028人
JR西日本	9,616億円	1.07%	3,205人
トヨタ自動車	141,684億円	0.43%	47,228人
東芝	18,552億円	1.81%	6,184人
NEC	5,586億円	3.13%	1,862人

注1：月1万円賃上げする場合(非正規含)の内部留保取り崩し率  
注2：内部留保1%取り崩しによる雇用増人数(年収300万円・1年)